



DIGNO[®] ケータイ **カメラレス**

KY-43C

クイックスタートガイド

はじめに

「KY-43C」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について


クイックスタートガイド（本体付属品）

基本的な操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（本端末に搭載）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを
直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。

【ご利用方法】

待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [取扱説明書]

取扱説明書（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

お知らせ

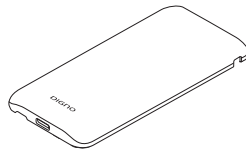
- 本書においては、「KY-43C」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。

- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- お客様のご契約内容により、ドコモへのお問い合わせ先が異なります。お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙をご覧ください。
- 本書は端末カラーが「ブラック」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書で記載しているキーは、実際のキーとは字体や形状が異なっていたり、一部を省略している場合があります。

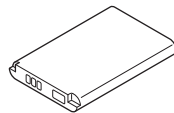
本体付属品



KY-43C本体



リアカバー KY03



電池パック KY01

クイックスタートガイド

- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

本端末のご利用について	3
安全上のご注意（必ずお守りください）	4
取り扱い上のご注意	14
防水／防塵／耐衝撃性能	20

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	26
基本操作	29
nanoSIMカード	37
microSDカード	41
電池パック	43
充電	44
電源を入れる／切る	48
Device Controlアプリ	48
文字入力	48
初期設定	50
ロック・セキュリティ	51
タスクの管理	53
カスタマイズキーの利用	54

電話

電話をかける	55
電話を受ける	56
通話中の操作	57
リダイヤル／着信履歴	59

通話音声／伝言メモ	59
電話帳	60

メール／ウェブブラウザ


ドコモメール	63
+メッセージ	65
ウェブブラウザ	66

付録／索引

トラブルシューティング（FAQ）	68
端末初期化	71
保証とアフターサービス	71
ソフトウェアアップデート	74
携帯電話機の比吸収率（SAR）について	76
Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones	77
FCC Notice	78
輸出管理規制	80
知的財産権について	80
索引	84




本端末のご利用について

- 電波やサービスエリア、ディスプレイの特性など本端末に関する詳細な注意事項については、本端末に搭載の「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）またはドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）の「本端末のご利用について」を必ずご確認ください。
- 本端末はLTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分に確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「**適マーク**」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。待受画面で▶[設定]▶[端末情報]▶[技術基準適合証明]
- 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 本端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。本端末の比吸収率（SAR）については、本端末に搭載の「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）またはドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、ドコモのホームページをご覧ください。
- 輸出管理規制については、本端末に搭載の「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）またはドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1.本端末、電池パック、アダプタ、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については以下をご参照ください。

→P.20



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P.20



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P.20



水濡れ禁止

外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P.20



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、外部接続端子、受話口／スピーカー部、送話口／マイク部に入らないようにしてください。
本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜く。
- 本端末の電源を切る。
- 電池パックを本端末から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
→P.20



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となりますので、衣類のポケットに入れたり就寝時などご注意ください。

2.本端末の取り扱いについて



危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のnanoSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください。電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部を破損した際には、割れたディスプレイ部や露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを取り付けるときは、指などの身体の一部を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

→P.13



指示

本端末を開閉する際は、指などの身体の一部を挟まないようご注意ください。

すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。



指示

本端末の受話口／スピーカー部（外装ケース側を含む）に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

⚠危険



禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本端末からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付けかた、取り外しかたについては以下をご参照ください。

→P.43



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確認してください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付けかたについては以下をご参照ください。

→P.43



指示

電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パック内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️注意



禁止

電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

4.アダプタの取り扱いについて

⚠️警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

5.nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠️注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠️警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7.材質一覧

■ 端末

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（KEYケース、LCDフロントケース）	PC+GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（ヒンジカバー）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース (LCDリアプレート)	PMMA樹脂 (インモールド)	アクリル系UV硬化箔
マナーキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電話帳／上キー、下キー、センターキー、着信履歴／左キー、発信履歴／右キー、MENUキー、メールキー、通話音声・伝言メモキー、ブラウザキー、発信キー、クリアキー、電源／終了キー、ダイヤルキー、カスタマイズキー (I、II、III)、クッション	PET樹脂	UV硬化性処理
ウィンドウパネル部 (メイン部)	PMMA樹脂	ハードコート処理
ウィンドウパネル (サブ部)	PMMA樹脂 (インモールド)	アクリル系UV硬化箔
内蔵メインアンテナ部、内蔵サブアンテナ部	PC樹脂	金メッキ (エレメント部)
ネジ	鉄	Niメッキ
ゴムパッキン	シリコン樹脂	—
ストッパー	PP樹脂	—
カードスロット (nanoSIM／microSD)	SUS	—
シール	PET樹脂	—
端子	銅	金メッキ処理 (下地Niメッキ)

■ リアカバー KY03

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理

■ 電池バック KY01

使用箇所	使用材料	表面処理
外装	PC樹脂	—
シール	PET (基材)+PP (表面)	—
端子	銅	金メッキ処理 (下地Niメッキ)

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- KY-43Cは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体 (飲料水、汗、海水、ペットの尿など) や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。

電池バック、アダプタ、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」 (→P.71) をご確認ください。

- 端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 本端末はアルコール除菌シート・アルコールを少量含ませた布（布が湿る程度）で拭き取りをすることができます。耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される下記の薬品を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。(1) イソプロピルアルコール、(2) エタノール、(3) 次亜塩素酸ナトリウム
アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。
- ディスプレイを強く押したり、引っかいたりしないでください。傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様で自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールやラベルなどを貼らないでください。
本端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

電池パックについてのごお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品のため、保証対象外です。
電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや電池パックが膨らんでいるときは電池パックの交換時期です。電池パックの交換につきましては、「保証とアフターサービス」（→P.71）をご確認ください。
- 電池パックを保管される場合は、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

アダプタについてのお願い


- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

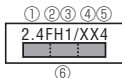
nanoSIMカードについてのお願い


- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。

- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったnanoSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、待受画面で  [設定] ▶ [端末情報] ▶ [技術基準適合証明] で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑥ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。一部の国／地域ではBluetooth機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

- 本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

■ 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。


■ 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

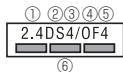
● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。


- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、待受画面で▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [技術基準適合証明] で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。

- ③ 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ⑤ 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑥  : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。



利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。待受画面で▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [技術基準適合証明] 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能

KY-43Cは、リアカバーを取り付けた状態でIPX5相当※1、IPX8相当※2の防水性能、IP5X相当※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格準拠※4の耐衝撃性能を実現しております（当社試験方法による）。

- ※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
- ※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
- ※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。（塵埃（じんあい）の侵入を完全に防止するわけではありません。）
- ※4 MIL規格準拠
米国国防総省が制定したMIL-STD-810H Method 516.8:Shock-Procedure IVに準拠した規格において、高さ1.22mから鋼板に製品を26方向で落下させる試験を実施しています。
※ 日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落としかたをするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

- すべての状況での動作を保証するものではありません。
お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

KY-43Cが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（6リットル/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（→P.25）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご使用にあたっての注意事項

- リアカバーは完全に装着した状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本端末が濡れている状態でのリアカバーの開閉は絶対にしてしないでください。
- 水道水以外の液体（アルコール、海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、ジュース、アルコール飲料、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ベットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー部、送話口／マイク部、気圧調整穴、外部接続端子に砂などが入り音が小さくなったり、ヒンジ部などから本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

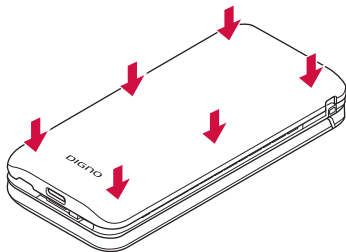
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気が多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るものそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 受話口／スピーカー部、送話口／マイク部、気圧調整穴、外部接続端子に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本端末は水に浮きません。

リアカバーについて

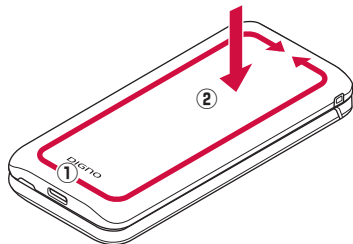
- リアカバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- リアカバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- リアカバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

リアカバーの取り付けかた

- ① 本体を閉じた状態でリアカバーと本体を合わせるように置き、リアカバーを取り付ける

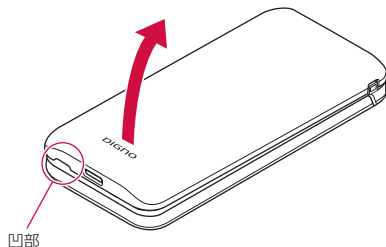


- ② リアカバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させる



リアカバーの取り外しかた

- ① リアカバーの凹部に指先(爪)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外す



水以外が付着した場合

- 万一、水以外（海水・洗剤・アルコール飲料など）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- 柔らかい布に泡ハンドソープやイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを付け拭くことができます（→P. 23）。
- やや弱めの水流（6リットル/分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、リアカバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、リアカバーを外さないで、本体、リアカバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

- 寒冷地では本端末に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

ゴムパッキンについて

- リアカバーを開けたときの本体側のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- リアカバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- リアカバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本端末が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
- リアカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷付けたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本端末は耐熱設計ではありません。

衝撃について

- 本端末は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落下し方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

お知らせ

- 防水/防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて端末をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

お手入れのしかた

本端末の汚れは泡ハンドソープやアルコールなどを使用して拭きとることができます。

- お手入れは電源を切って、ケーブル類をすべて取り外してから行ってください。

泡ハンドソープ／泡ボディソープを使用する場合

① 柔らかい布に泡ハンドソープ／泡ボディソープを付けて端末を手早く拭き取る

- 受話口／スピーカー部、送話口／マイク部、気圧調整穴、外部接続端子の穴部に泡ハンドソープなどが入り込まないように注意してください。

② 泡が完全になくなるまですぐ

- 受話口／スピーカー部、送話口／マイク部、気圧調整穴、外部接続端子の穴部を約30秒洗い流します。

- 3 受話口／スピーカー部、送話口／マイク部、気圧調整穴、外部接続端子の穴部の水抜きを十分にする(→P.25)
- 4 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認する(→P.25)

アルコールを使用する場合

- 1 繊維くずの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを少量(布が湿る程度)含ませ、本端末を拭き取ります。

※アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。

※イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムは消毒用として販売されているものを、それぞれの取扱説明書をよく読んでお使いください。誤った使いかたは人体への影響や引火などのおそれがあります。

※イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムに浸したり、直接吹きかけると故障の原因になります。必ず柔らかい布に付けて拭くようにしてください。

お知らせ

- 市販のアクセサリ商品(ストラップなど)は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。

- お手入れの際はリアカバーがしっかり閉じていることを確認してください。
※国内メーカー製の泡タイプのハンドソープ／ボディソープをご使用ください。種類の異なる泡ハンドソープ／泡ボディソープは混ぜないでください。
キッチン用・業務用・無添加・アルカリ性のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープや、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などを使用しないでください。
付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。

充電のときは

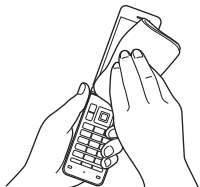
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。
- 本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本端末が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、常温で1時間以上放置して乾燥させてから卓上ホルダ(KY01)(別売)に差し込んでください。
- 濡れた手で指定のACアダプタ(別売)、卓上ホルダ(KY01)(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定のACアダプタ(別売)、卓上ホルダ(KY01)(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

- 外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。

水に濡れたときの水抜きについて

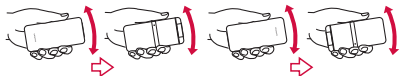
端末を水に濡らした場合、必ず受話口／スピーカー部、送話口／マイク部、ヒンジ部、気圧調整穴部、外部接続端子部の水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

- ① 端末表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取る



- ② 振りかたについて

- ① 端末をしっかりと持ち、水が出なくなるまで矢印方向に振る
 - 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
 - 端末が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

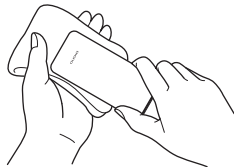


- ② 出てきた水分を拭き取る

- 受話口／スピーカー部、送話口／マイク部、気圧調整穴部、外部接続端子部は特に水が抜けにくいいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

- ③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置する

- ③ 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本端末を軽く押し当て、受話口／スピーカー部・送話口／マイク部・ヒンジ部・気圧調整穴部・外部接続端子部などの隙間に入った水分を拭き取る

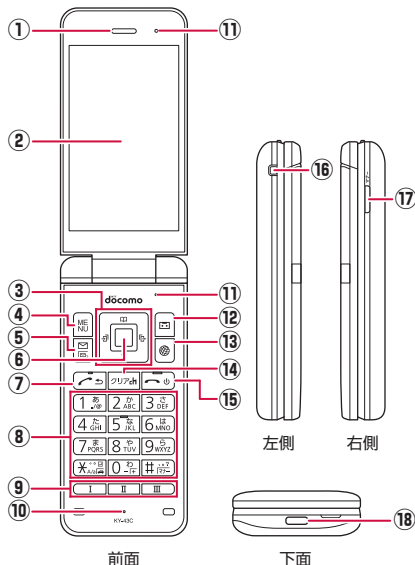


- ④ 本端末から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させる






- 本端末に水分が残っている場合があります。濡れて困るものそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。


ご使用前の確認と設定

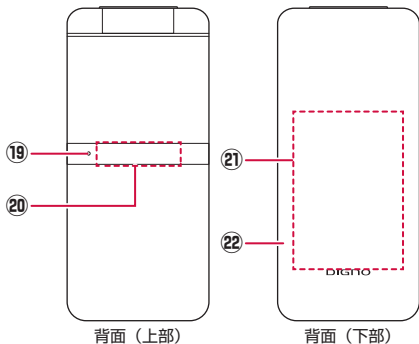
各部の名称と機能



- ① 受話口／スピーカー
 - 通話中の相手の声や、着信音や音楽、アラーム音などが聞こえます。
- ② ディスプレイ
- ③ ：カーソルキー
 - カーソルを移動して項目を選びます。
 - 操作の説明では、、、と表記する場合があります。
 - 待受画面で次のキーを押すと以下の機能を起動できます。
 - ：着信履歴一覧画面の表示
 - ：リダイヤル一覧画面の表示
 - ：電話帳の表示
 - ：フォーカスモードの利用
- ④ ：MENUキー
 - メニューの表示や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
- ⑤ ：メールキー
 - メール起動や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
 - 待受画面で1秒以上押すと、メールの問い合わせをします。
- ⑥ ：センターキー
 - 項目を選択／決定します。
 - 待受画面で押すと、フォーカスモードになります。
- ⑦ ：発信キー
 - 電話をかけたり、受けたりします。
 - 待受画面で押すと、電話番号入力画面を表示します。
- ⑧ ：ダイヤルキー
 - 電話番号や文字を入力します。
 - 待受画面でキーを1秒以上押すと、ドライブモードを設定／解除できます。
 - 待受画面でキーを1秒以上押すと、「+」を入力できます。

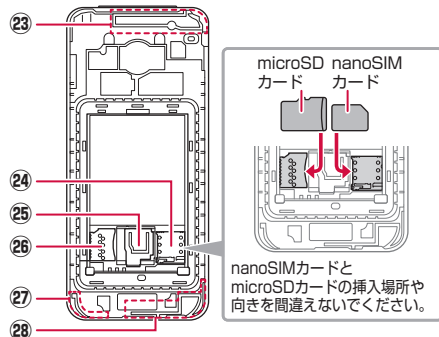
- 待受画面で[#]キーを1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除できます。
- ⑨  : **カスタマイズキー**
- カスタマイズキーについては→P.54
- ⑩ **送話口／マイク**
- 通話中に自分の声を伝えたり、通話音声の録音時に使用したりします。
- ⑪ **気圧調整穴**
- 本端末は防水／防塵仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。そのため、空気抜き用の穴を設けています。
 - 気圧調整穴は防水／防塵性能に影響を与えません。
 - 保護シートやシールで穴をふさがないようにください。
- ⑫  : **通話音声・伝言メモキー**
- 通話音声・伝言メモメニューの起動や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
- ⑬  : **ブラウザキー**
- Webメニューの表示や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
- ⑭  : **クリアキー**
- 入力した文字や番号を削除したり、1つ前の画面に戻します。
 - 待受画面で押すと、iチャンネルのチャンネル一覧を表示します。
- ⑮  : **電源／終了キー**
- 2秒以上押して電源を入れます (→P.48)。
 - 1秒以上押して電源を切ります (→P.48)。
 - 起動中の機能を終了して待受画面を表示します。
- ⑯ **ストラップ取付部**
- ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを取り外してから (→P.22)、ストラップ取り付け口にストラップを通し、中のストラップピンにストラップを掛けて (→P.36) リアカバーを取り付けてください (→P.22)。

- ⑰  : **マナーキー**
- 待受画面で押すと、マナーモードの設定メニューが表示されます。
 - 待受画面または本端末を閉じた状態で1秒以上長押しすると、マナーモードを設定／解除します。
 - 本端末を閉じた状態で押すと、サブディスプレイの点灯や表示の切り替えができます。
- ⑱ **外部接続端子**
- 充電時やイヤホンマイク、パソコンなどの接続時に使用します。
- ※USB Type-Cのイヤホン／イヤホン変換ケーブルを接続して、イヤホンマイクを使用する場合はアナログ方式のみ対応しております。



背面（上部）

背面（下部）



背面（下部）リアカバー取り外し時

19 着信／充電ランプ

- 着信中や充電中などに点灯／点滅してお知らせします。

20 サブディスプレイ

21 電池パック

22 リアカバー

23 内蔵メインアンテナ部※1

24 nanoSIMカードスロット※2

25 ストッパー

26 microSDカードスロット※2

27 内蔵GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※1

28 内蔵サブアンテナ部※1

※1 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。







※2 nanoSIMカードとmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。取り付け／取り外し方法については→P.37、P.42



基本操作

項目の選択やメニューの操作、ディスプレイやアイコンの見かたなど、端末の操作について説明します。

カーソルキーの操作（項目の選択）

- カーソルを移動するとカーソル位置の色が変わったり、項目に枠が表示されたりします。
- 操作手順の表記と意味は次のとおりです。





表記	意味
待受画面で  ▶[設定]▶[壁紙・ディスプレイ]	待受画面で  を押す▶  で[設定]にカーソルを合わせて  を押す▶  で[壁紙・ディスプレイ]にカーソルを合わせて  を押す

- 項目を選択／入力してを押す操作において、本書では最後にを押す操作を省略しています。

お知らせ

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。

ダイヤルキーで選択（ショートカット操作）

メニュー項目に番号（ショートカット番号）が割り当てられている場合に、対応するダイヤルキー（～）や、を押してメニュー項目を選択する方法です。






- 目的のメニュー項目に表示されている項目番号を押してください。項目番号がないメニューは、カーソルキーで選択してください。

画面の最下行の内容を実行する




画面下部には、機能キー（、、、）やセンターキー（）を押して操作できるメニューや機能が表示されます。

- 表示される内容は画面によって異なります。



- ①「保留」は、を押す。
- ②「サブメニュー」は、を押す。
- ③「電話帳」は、を押す。
- ④「スピーカーON」は、を押す。
- ⑤「ミュートON」は、を押す。

お知らせ

- 画像を表示しているときなど、画面の最下行に表示されていない場合は、や、などを押すと表示されます。

ポインターの操作

本端末はポインターを \square / \square / \square / \square で操作します。ポインターに対応した機能/アプリを起動し、ポインターをONにすると、画面に表示されるポインターを操作できます。

① ポインターに対応した機能/アプリを起動する

ステータスバーに「 \blacksquare 」(OFF) / 「 \blacksquare 」(ON) が表示され、ポインターがONの場合は、「 \blacktriangleright 」(ポインター) が表示されます。選択可能なボタンや項目などの上にポインターがあるときは「 \blacktriangleright 」が表示されます。

ポインターの操作について

ブラウザなどを操作するとき、画面上のポインターを上下左右に移動して操作できます。

■ ポインターをONにする

① ポインターに対応した機能やアプリを起動中に

\square を1秒以上長く押す

ポインターのON/OFFの設定が切り替わります。

- ポインターがONの場合でも、キー操作 (\square / \square / \square / \square / \square / \square 以外) は可能です (一部のアプリを除く)。

■ ポインターを移動する

\square / \square / \square / \square を押すと、ポインターが上下左右に移動します。また、 \square や \square と \square や \square を同時に押すと斜めに移動できます。



■ ボタンなどを選択する

選択したいボタンや項目などの上にポインターがある状態で \square を押すと、そのボタンや項目などが決定 (実行) されます。

■ 画面をスクロールする

ポインターが画面の上下左右端にあるときに、 \square / \square / \square / \square で画面の外側の方向に動かします。

- \square を2秒以上長く押しするとポインターが「 \blacktriangle 」に変わり、 \square / \square / \square / \square で画面をスクロールできるようになります。

待受画面の見かた

待受画面では、現在の状態（ステータス）や新着情報などを確認できます。



① ステータスバー

- お知らせアイコンとステータスアイコンで現在の状態を確認します。

② 通知アイコン

- 伝言メモや不在着信、留守電などの通知を表示します。

③ 時刻・日付

④ i チャネルテロップ

- i チャネルをご契約いただいている場合、自動的に i チャネル情報が流れます。







フォーカスモードの利用

待受画面に表示されている時刻・日付や、通知アイコンを選択すると、対応するアプリの起動や情報の確認などができます。

① 待受画面で /

- フォーカスモードになります。







② ステータスバー / 時刻・日付 / 通知アイコンを選ぶ

- フォーカスモードの解除： / 
- フォーカスモード中は、 /  /  /  を押してもメニューの表示や機能の起動ができません。



通知アイコンからお知らせ内容を確認

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、待受画面に通知アイコンを表示してお知らせします。

- 主な通知アイコンと、選択した場合の動作は次のとおりです。
 -  (伝言メモ)：伝言メモリスト画面が表示されます。
 -  (不在着信)：着信履歴一覧画面が表示されます。
 -  (留守番電話サービスの伝言メッセージ)：留守番電話接続の確認画面が表示されます。
 -  (新着メール)：受信BOX画面が表示されます。
 -  (新着+メッセージ)：+メッセージのスレッド一覧が表示されます。
 -  (通知情報)：ステータスパネルが表示されます。
- 通知情報以外の通知アイコンは、内容を確認すると消えます。
なお、留守番電話サービスの場合は、伝言メッセージを削除/保存すると消去できます。

ステータスバーについて



画面上部のステータスバーに表示されるお知らせアイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。
























ステータスバー



お知らせアイコン ステータスアイコン

■ 主なお知らせアイコン一覧

	新着+メッセージあり/新着SMSあり	P.65
	新着メールあり	P.63

	新着PCメールあり	—
	新着エリアメールあり	—
	エラー表示 ● 何らかのエラーが発生したときに表示されます。	—
	データ通信が無効 ● データ通信の制限を超えた場合に表示されます。	—
	アラーム鳴動中/スヌーズ中	—
	スケジュールの予定を通知中	—
	着信中/通話中/発信中	P.55
	不在着信あり	—
	伝言メモあり	P.59
	microSDカードのマウント中	—
	本体メモリの空き容量低下	—
	Bluetooth通信のデータ受信要求あり	—
	送信表示	—
	受信表示	—
	スクリーンショットで画像を保存	P.35
	[USBデザリング]が有効	—
	[Bluetoothデザリング]接続中	—
	複数のデザリングが有効	—
	ソフトウェア更新あり	P.74
	おまかせロック設定中	—
	+メッセージが有効	P.65
	iチャンネル情報あり	—
	表示されていないお知らせアイコンあり	—

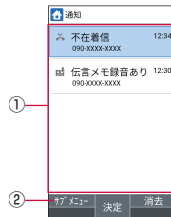
■ 主なステータスアイコン一覧

	電池レベル 100% / 残量なし / 充電中	—
	バッテリーケアモードを [ON] に設定中	—
	電波の強さ	—
	圏外	—
	通信中	—
	機内モード中	—
	3G使用可能	—
	4G (LTE) 使用可能	—
	国際ローミング中	—
	マナーモード	—
	ドライブモード	
	サイレントモード	—
	ポインターが有効	P.30
	ポインターが無効	P.30
	ハンズフリーで通話中	P.57
	ミュートに設定中	P.57
	アラーム設定中	—
	Bluetooth接続中	—
	Wi-Fi接続中	—
	インターネット利用不可のWi-Fiに接続中	—
	[Wi-Fiテザリング] が有効	—
	VPN接続	—
	伝言メモ設定中	P.59
	伝言メモ全件録音済み	

通知リストについて

通知リストでは、通知内容の確認や対応するアプリの起動ができません。

① (1秒以上)



① 通知エリア

- 端末の状態や通知内容を確認できます。お知らせを選択すると、対応する機能を起動して確認できます。

② サブメニュー

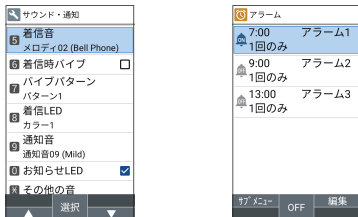
- 通知の削除や設定ができます。

設定の切り替え

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、項目にカーソルを合わせて \blacksquare を押すと設定の有効/無効や、[ON] / [OFF] を切り替えることができます。

- \blacksquare は有効、 \square は無効の状態です。
- 操作ガイダンスに [全選択] / [全解除] が表示されているときは、該当する機能キーを押すとすべての項目を選択/解除できます。

例：サウンド・通知画面、アラーム画面



お知らせ

- 件数、通知アイコンのお知らせ内容が表示されるものもあります。

着信/充電ランプ

- 着信中や充電中などに着信/充電ランプを点灯/点滅してお知らせします。
 - 赤色点灯：充電中
 - 青色点滅：着信中/不在着信あり/伝言メモあり/新着メール・メッセージ・SMSあり

サブディスプレイについて

サブディスプレイは、日時・時間、マナーモードや電池残量などの端末の状態、着信相手などの情報を表示してお知らせします。

- 本端末を閉じている状態で \blacksquare を押したときや、本端末を閉じたときなどにサブディスプレイが点灯します。

サブディスプレイの見かた

\blacksquare を押すと表示が切り換わります。



時計表示



ステータスアイコン表示

■ 主なアイコン一覧

	電波の強さ
	圏外
	機内モード中
	3G使用可能
	4G (LTE) 使用可能

	電池レベル 100%／ 残量なし／ 充電中／ バッテリーケアモードを「ON」に設定中
	マナーモード状態 マナーモード／ ドライブモード／ サイレントモード
	不在着信あり
	伝言メモあり
	新着メールあり
	新着＋メッセージ／SMSあり
	Wi-Fi®接続状態 Wi-Fi®接続状態中／ Wi-Fi®接続中（オープン）

スクリーンショットの撮影

と \square を同時に1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、データフォルダの「画像」で確認することができます。

お知らせ

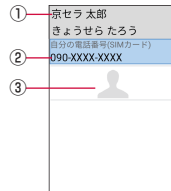
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

プロフィール

nanoSIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できません。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- お買い上げ時は、取り付けたnanoSIMカードに登録されている電話番号のみが表示されます。

- 1 待受画面で \square ▶【プロフィール】
- 2 プロフィールを確認／利用する



- ① 姓名／よみがな
 - 名前を登録すると表示されます。
- ② 自分の電話番号
- ③ 画像

■ プロフィールの編集／利用

1 待受画面で☎▶[プロフィール]

2 ☎▶[プロフィール編集]▶各項目を設定▶☑

- 設定できる各項目については→P.60
- プロフィールを送信：☎▶[データ送信（共有）]▶画面の指示に従って操作
- 項目のコピー：コピーしたい項目にカーソルを合わせる▶☑

■ メールアドレスの確認

1 待受画面で☑

2 [メール設定]▶[マイアドレス]

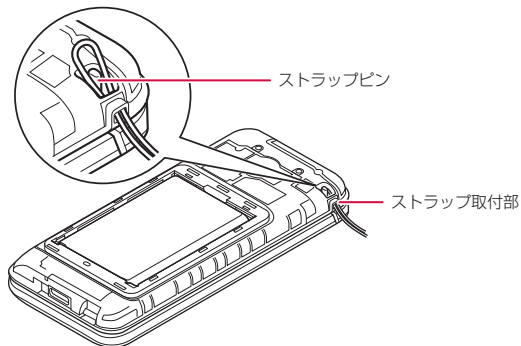
- [更新する]を選択すると、マイアドレスの情報を更新できます。

ストラップの取り付け

ストラップの取り付けは、リアカバーを取り外してから行ってください（→P.22）。ストラップの取り付け後はリアカバーを取り付けてください（→P.22）。

1 ストラップをストラップ取付部から通す

2 ストラップをストラップピンへ確実に引っ掛けてから、外側へ引っ張る



3 リアカバーを取り付ける

お知らせ

- ストラップがストラップピンに確実に引っ掛かっていることを確認してください。本体とリアカバーの間にストラップが挟まると、リアカバーが完全に閉まらなくなり、防水・防塵性能が損なわれます。また、ストラップが外れ、破損やけがの原因になります。

nanoSIMカード

nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

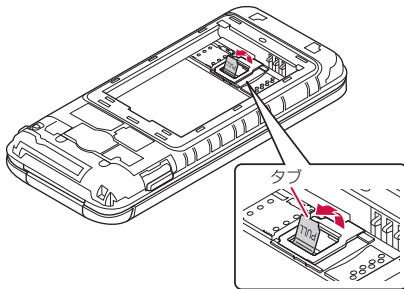
- 本端末ではnanoSIMカードのみご利用できます。miniSIMカード、SIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてnanoSIMカードにお取り替えください。
- nanoSIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- nanoSIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

nanoSIMカードの取り付け／取り外し

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（→P.22）、電池パック（→P.44）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（→P.22）、電池パック（→P.43）を取り付けてください。

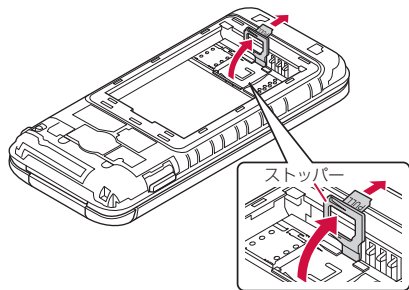
nanoSIMカードの取り付けかた

- ① タブを矢印の方向に持ち上げる



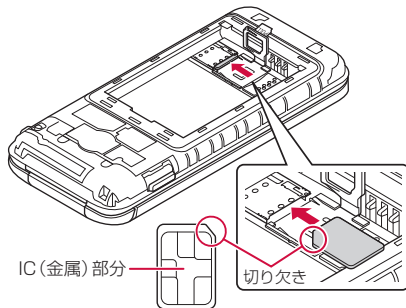
2 タブを引っ張り、ストッパーを矢印の方向に持ち上げる

- ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。



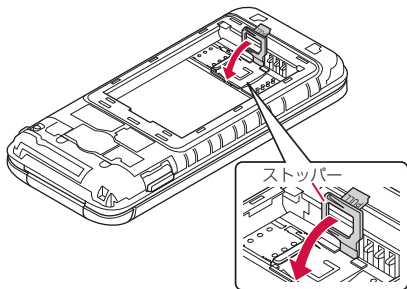
3 nanoSIMカードのIC(金属)部分を下にして矢印の方向にスライドさせ、nanoSIMカードスロットにカチッと音がするまで押して取り付ける

- 切り欠きの位置に注意してください。



4 ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする

- ストッパーがうまく閉じない場合は、いったんストッパーを持ち上げて、nanoSIMカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。

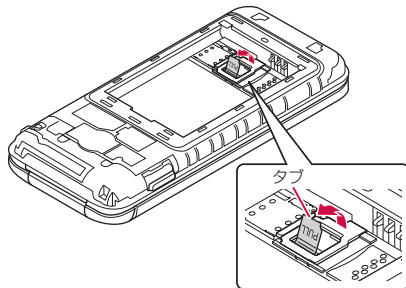


お知らせ

- ストッパーは、しっかりとロックしてください。ロックしていないと、衝撃などでnanoSIMカードが外れるおそれがありますので、ご注意ください。

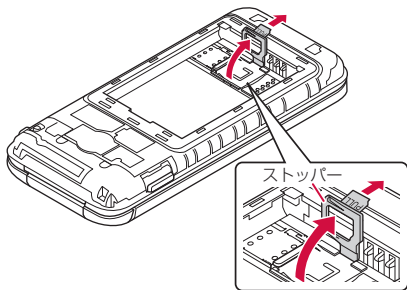
nanoSIMカードの取り外しかた

1 タブを矢印の方向に持ち上げる

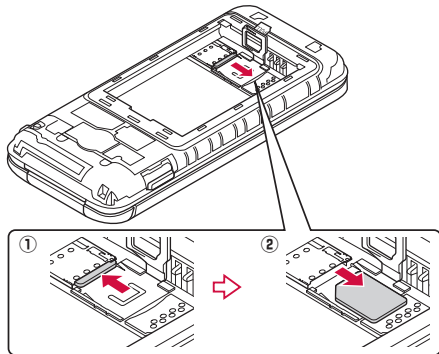


2 タブを引っ張り、ストッパーを矢印の方向に持ち上げる

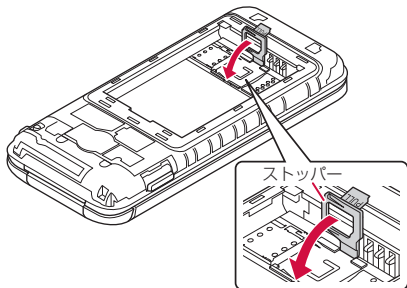
- ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。



3 nanoSIMカードをカチッと音がするまで押したあと(①)、まっすぐに引き出す(②)



4 ストッパーをカチッと音がするまで倒し、ロックする



お知らせ

- nanoSIMカードを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、IC（金属）部分に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカードスロットが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

nanoSIMカードの暗証番号について

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります（→P.52）。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- KY-43Cでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2023年2月現在）。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管して下さるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

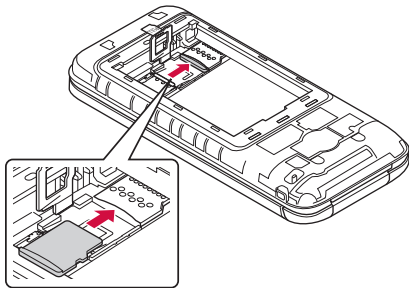
- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（→P.22）、電池パック（→P.44）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（→P.22）、電池パック（→P.43）を取り付けてください。

microSDカードの取り付けかた

- ① タブを持ち上げる（→P.37）
- ② タブを引っ張り、ストッパーを持ち上げる（→P.38）
 - ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。

- ③ microSDカードの端子(金属)面を下にして矢印の方向にスライドさせ、microSDカードスロットに取り付ける

- microSDカードを差し込む向きに注意してください。

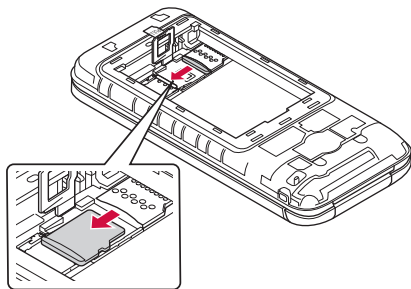


- ④ ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする（→P.39）

- ストッパーがうまく閉じない場合は、いったんストッパーを持ち上げて、microSDカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。

microSDカードの取り外しかた

- 1 タブを持ち上げる(→P.37)
- 2 タブを引っ張り、ストッパーを持ち上げる(→P.38)
 - ストッパーを持ち上げる際に、強い力をかけないようにご注意ください。ストッパーが破損するおそれがあります。
- 3 microSDカードを矢印の方向にスライドさせ、microSDカードスロットから取り外す



- 4 ストッパーをカチッと音がするまで倒してロックする(→P.39)

電池パック

電池パックは、本端末専用の電池パック KY01をご利用ください。

- 電池パックは防水性能を有しておりません。

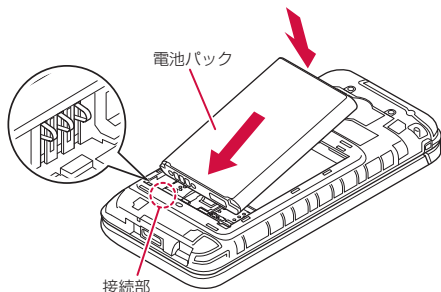
電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー(→P.22)を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー(→P.22)を取り付けてください。

電池パックの取り付けかた

1 電池パックを取り付ける

- 接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込んでください。



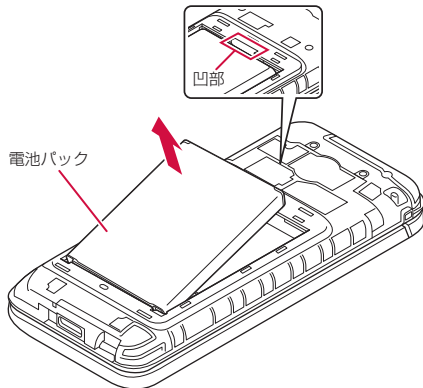
お知らせ

- nanoSIMカード、microSDカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

電池パックの取り外しかた

① 電池パックを取り外す

- 本体の凹部から指先（爪）を電池パックに引っ掛けて、矢印の方向に持ち上げて取り外してください。



充電

お買い上げ時の電池パックは十分に充電された状態ではありません。

十分に充電したときの使用可能時間（目安）

使用環境や電池パックの状態により、本端末を使える時間は異なります。

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくとつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。



充電について

- 端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに【⚡】が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。

- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

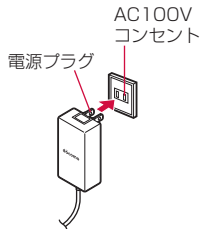
ACアダプタ、DCアダプタ

- 詳しくはACアダプタ 08（別売）、DCアダプタ（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 08は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

ACアダプタで充電する

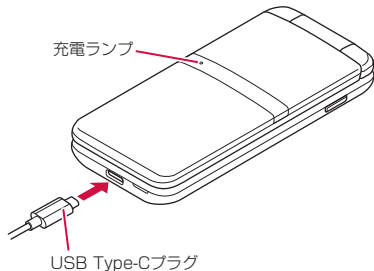
- ACアダプタ 08（別売）を使って充電する場合は次の操作を行います。

① ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



2 ACアダプタのUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

- USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。
- 端末の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
- 端末の充電ランプが青色点滅 (→P.34) の場合は、青色点滅が優先になります。
- 充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

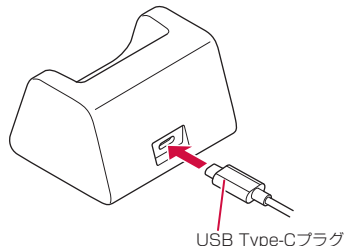
4 ACアダプタのUSB Type-Cプラグを端末の外部接続端子から抜く

卓上ホルダを使って充電する

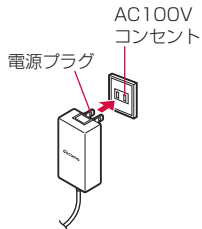
- 卓上ホルダ KY01 (別売) とACアダプタ 08 (別売) を使って充電する場合は次の操作を行います。

1 卓上ホルダの接続端子にACアダプタのUSB Type-Cプラグを差し込む

- USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。

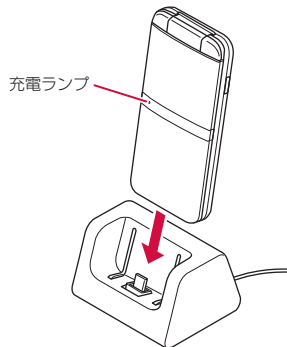


2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



3 端末を閉じた状態で卓上ホルダに取り付ける

- 矢印の方向に端末をはめ込みます。本端末と卓上ホルダの向きに注意して、外部接続端子に奥までしっかりとまっすぐに差し込むように取り付けてください。
- 端末の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
- 端末の充電ランプが青色点滅 (→P.34) の場合は、青色点滅が優先になります。
- 充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



- ## 4 充電が完了したら、端末を卓上ホルダから取り外す
- ## 5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ（別売）は、自動車のアクセサリソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

- 取り扱いについては詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する

端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02（別売）で接続すると、端末を充電することができます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

① （2秒以上）

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください（→P.50）。

電源を切る

① （1秒以上）

② [はい]

Device Controlアプリ

電話やWi-Fiなどの機能を個別に制限し、業務に適した設定が簡単に行えるDevice Controlを搭載しています。設定用のPCなどは不要で、端末のみで設定できます。設定の複製も簡単に行うことができます。

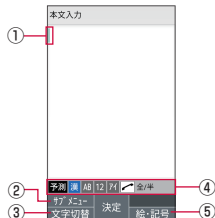
- Device Controlを利用するには、端末の初期設定時にDevice Controlを有効にする必要があります（→P.50）。
- Device Controlの利用方法については、ドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。


文字入力

電話帳の登録やメールの作成など、文字を入力して利用する機能やアプリがあります。

文字入力のしくみ

1つのダイヤルキーに複数の文字が割り当てられています。キーを押すたびに文字が切り替わります。





- ① **カーソル**
 - 追加したい位置にカーソルを合わせます。
- ② **サブメニュー**
 - 文字のコピー／貼り付けや入力設定などができます。
- ③ **文字切替**
 - 入力する文字種を変更します。
 - ・ を押すたびに半角英字→半角数字→半角カタカナ→ひらがな漢字の順に、文字種が切り替わります。
- ④ **入力モード表示**
 - 入力モードを確認できます。選択中の文字種は青のアイコンで表示されます。
- ⑤ **絵文字・顔文字・記号**
 - 絵文字／顔文字／記号リストを表示します。
 - ・ アプリによっては、入力できないものがあります。

かな入力と2タッチ入力について



文字種を半角数字以外に切り替えたときの入力方式には、「かな方式」と「2タッチ方式」の2種類があります。

文字の変換について

ひらがなを入力してを押すと、入力時に押したダイヤルキーに対応したカタカナ／英字／数字／記号および予測される日付や時間の変換候補一覧が表示されます。文字種が「漢」のまま英数字・カタカナや月日、時間などを入力するときに便利です。
例：「かきく」を入力してを押すと、「ABC」などの変換候補が表示されます。

文字の修正

バック機能について

文字入力時にキーを押すすぎて入力したい文字を行きすぎた場合でも、を押すと前の文字に戻すことができます。
例：「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、を押すと、「き」に戻ります。

お知らせ






- 「入力方式」を「2タッチ方式」に設定した場合、この機能は利用できません。

戻す機能について

（元に戻す）を押すと、直前の確定を解除できます。

予測変換機能について

「変換モード」を「予測変換」に設定すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節が変換候補として挙げられます。

- 例：「か」と入力するだけで、「彼」などの予測変換の候補が表示され、を押すと選択できます。また、確定した文に続くことが予想される予測変換の候補も表示されます。
- 例：「私」と入力すると、予測変換の候補に「は」「の」「が」などが表示されます。を押すと選択できます。
- を押して予測変換候補と通常変換候補の一覧を切り替えることができます。「変換モード」を「通常変換」に設定している場合は、ひらがなの入力時にを押すと通常変換候補が表示されます。
 - を確定する前に押すと、変換を解除します。

絵文字・顔文字・記号の入力

- 1 文字入力画面で
- 2 を押して、絵文字／顔文字／記号の一覧を表示
- 3 絵文字／顔文字／記号を選択

文字入力のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能やアプリ、条件などにより異なります。

- 1 文字入力画面で

呼出	定型文やデータ引用による入力ができます（→P.50）。
範囲選択（コピー他）	文字を選択してコピー、切り取り、貼り付け、単語登録ができます。
貼り付け	コピー／切り取りした文字列を貼り付けます。
元に戻す	直前の確定を解除できます。
文字入力設定	文字入力の設定をします。
編集中止	文字入力を中止します。

※ 表示される項目は条件によって異なります。

定型文入力

あらかじめ登録されている固定定型文や、登録した定型文などを入力できます。

- 1 文字入力画面で▶[呼出]▶[定型文]
- 2 定型文を選ぶ

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 1 「初期設定を行います」の画面が表示されたら

- Device Controlを有効にする場合は、を押さずに、###と入力します。
- Device Controlについては→P.48

アプリの権限設定

アプリの権限を一括で設定できます。

- アプリごとの権限の設定が不要となりますので、一括許可することを推奨します。
- アプリの権限設定で後から変更することができます。

- 1 [一括許可する]▶[はい]

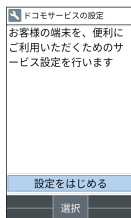
- [後で設定する]を選択するとアプリ起動時などに個別に権限を設定します。

- 2 ソフトウェア更新画面でカーソルを画面下の「同意する」まで移動▶

ドコモサービスの設定

- ドコモサービスは、待受画面で▶ [設定] ▶ [ドコモサービス]でも設定できます。

- ① ドコモサービスの設定画面が表示されたら[設定をはじめめる]



- ② [同意して設定する]▶dアカウントを設定
- ③ [OK]

ロック・セキュリティ

操作用暗証番号設定

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。
- 各種暗証番号に関するご注意
- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とnanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

dアカウントのパスワード

dアカウントは、ドコモアプリで利用するアカウントです。dアカウントのパスワードは、初期設定時に任意のパスワードを設定いただけますが、お客様ご自身でパスワードを変更できます。

- dアカウントの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

機能ロックNo. (各種機能用の暗証番号)

各制限を設定している場合、一時解除するには機能ロックNo.の入力が必要になります。お客様ご自身で変更できます(→P.52)。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

PINコード

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(→P.53)。

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード (PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

機能ロックNo.変更

① 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ロック・セキュリティ] ▶ [機能ロックNo.変更]

② 現在の機能ロックNo.を入力 ▶

- 機能ロックNo.が未設定の場合は、現在の機能ロックNo.の入力は不要です。

③ 新しい機能ロックNo.を入力▶■

④ もう一度新しい機能ロックNo.を入力▶■

SIMカードロック

PINコードについて設定します。

① 待受画面で ▶【設定】▶【ロック・セキュリティ】▶【SIM カードロック】

SIMカードをロック	電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
SIM PINの変更	PINコードを変更します。

お知らせ

- 日本国内ではnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 設定はnanoSIMカードに保存されます。

PINロックの解除

① PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

② 新しいPINコードを入力


③ もう一度、新しいPINコードを入力

④ 

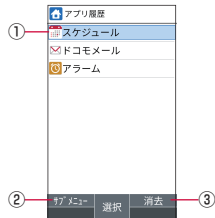
タスクの管理

アプリ使用履歴の利用

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

①  (1秒以上)

- 機能やアプリを利用中に押しでも操作できます。



① アプリの使用履歴

- 履歴を選択してアプリを起動することができます。

② サブメニュー

- 表示されているアプリを終了し、履歴をすべて削除できます。


③ 消去

- カーソルを合わせたアプリの履歴を消去できます。

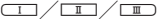


カスタマイズキーの利用

よく使う電話番号やお気に入りの機能をカスタマイズキーに登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。

カスタマイズキーに登録

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [カスタマイズキー]
- 2 登録するキーを選ぶ ▶ 登録機能を選ぶ
 - 登録の解除：解除するキーを選択 ▶ [設定なし]

カスタマイズキーに登録した機能の利用

- 1  /  / 
 - 押したキーに機能が登録されていない場合は、登録確認画面が表示されます。

電話

電話や電話帳を利用したり、通話音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。
- 最後の1桁を消去：
- すべての桁を消去：（1秒以上）
- カーソルの位置を移動：



2

- 発信オプションを利用して発信：▶[発信オプション]
▶各項目を設定▶/
- SMSの作成・送信：▶[SMS送信]▶▶メッセージを入力▶

- 短縮ダイヤル一覧を表示：▶[短縮ダイヤル一覧]
- 電話帳の登録：▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶

3 通話が終わったら

- 通話終了後に、通話後録音の画面が表示された場合は、「はい」を選択すると通話後録音を設定できます。通話後録音は次の通話から動作します。また、録音した内容は「通話音声メモリスト」から確認できます（→P.60）。
- 端末を閉じて通話を終了できます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。






- 日本国内ではnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信すると、着信拒否設定の項目が [OFF] に設定されます。

電話を受ける

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する



- 2 

- 、0~9、✖、#を押しても電話を受けることができます。

- 3 通話が終わったら 


- 通話終了後に、通話後録音の画面が表示された場合は、「はい」を選択すると通話後録音を設定できます。通話後録音は次の通話から動作します。また、録音した内容は「通話音声メモリスト」から確認できます（→P.60）。

着信音量調節


- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2 


着信拒否

- ① 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- ②  ▶ [着信拒否]




着信拒否してSMSを送信

- ① 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- ②  ▶ [拒否してSMS送信]
- ③ メッセージを選ぶ

伝言メモで応答

- ① 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する
- ②  ▶ [伝言メモ]

伝言メモの再生

- ① 待受画面で  ▶ 通知アイコン  を選ぶ
 - 待受画面で  ▶ [伝言メモリスト] でも確認できます。
- ② 伝言メモを選ぶ

通話中の操作

通話中画面ではハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



- ① 相手の名前や電話番号
- ② サブメニュー
 - 着信履歴／リダイヤル一覧画面の表示や聞こえ調整、Bluetooth通話の切り替えができます。
- ③ 電話帳
 - 電話帳を表示できます。
- ④ 高音質表示
 - VoLTEを利用した高音質通話中に表示されます。
 - VoLTE着信中なども表示されます。
- ⑤ 通話時間
- ⑥ スピーカーON/OFF
 - ハンズフリー通話のONとOFFを切り替えます。
- ⑦ ミュートON/OFF
 - ミュートのONとOFFを切り替えます。

⑧ 保留

- 保留／解除にします。

お知らせ

- ハンズフリー通話では次の内容にご注意ください。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

通話音量調節

① 通話中に


通話を追加

- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。
- 通話を追加するにはキャッチホンのご契約が必要です。

例：電話帳を表示して通話を追加するとき

① 通話中に

② 連絡先にカーソルを合わせる▶

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。
- 通話相手を切り替える場合は、通話中にを押してください。

リダイヤル／着信履歴一覧画面の表示

① 通話中に▶ [着信履歴]／[リダイヤル]

- 通話中に／を押しても着信履歴／リダイヤルを表示できません。

音声の出力先の切り替え

- Bluetooth機器を接続しているときのみ操作できます。

① 通話中に▶ [本体通話切替]／[Bluetooth通話切替]

通話音声メモ

- 通話後録音の設定がOFFになっているときのみ操作できます。

① 通話中に

- 録音を開始します。

②

- 録音した通話音声メモを保存します。

リダイヤル／着信履歴

最新の履歴からそれぞれ50件まで本体メモリに記憶されます。

1 待受画面で□/□



着信履歴一覧画面



リダイヤル一覧画面

- 1 相手の名前／電話番号
- 2 通話音声／伝言メモあり
- 3 発着信日時
- 4 不在着信の表示

2 履歴にカーソルを合わせる

- 通話音声／伝言メモの再生：☐
- リダイヤル／着信履歴一覧画面の切り替え：☐

3

- SMSの作成・送信：☐☐▶メッセージを入力▶☐
- メール作成・送信：☐▶[メール作成]▶[ドコモメール]／[PCメール]▶メールを作成▶☐
- 番号通知などの条件を設定して発信：☐▶[発信オプション]▶各項目を設定▶☐/☐

- 居場所を確認：☐▶[居場所を確認]▶[イマドコサーチ]
 - [イマドコサーチ]のサイトに接続します。イマドコサーチの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
 - ご利用にはパケット通信料がかかります。
- 電話帳の登録：☐▶[電話帳登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶☐
- 着信拒否番号登録：☐▶[着信拒否番号登録]▶[迷惑電話ストップサービス]／[番号指定拒否に登録]▶[はい]／[ブロック]

リダイヤル／着信履歴の削除

1 待受画面で□/□

2 履歴にカーソルを合わせる▶☐▶[履歴削除]▶[1件削除]▶[はい]

- 選択削除：☐▶[履歴削除]▶[選択削除]▶履歴を選ぶ▶☐▶[はい]
- 全件削除：☐▶[履歴削除]▶[全件削除]▶[はい]

通話音声／伝言メモ


通話音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

- 伝言メモは100件、通話音声メモは50件まで録音できます。伝言メモは1件あたり約60秒、通話音声メモは約60分まで録音できます。
- 通話音声メモをmicroSDカードに保存する場合、保存件数および1件あたりの時間は、microSDカードの空き容量に依存します。




1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [通話音声・伝言メモ]

伝言メモリスト	伝言メモの再生や削除、保護／解除など ができます。
通話音声メモリス ト	通話音声メモの再生や削除、保護／解除、 microSDカードへのコピーなどができ ます。
伝言メモ	伝言メモの動作について設定します。
応答時間	伝言メモの応答時間について設定しま す。
応答メッセージ	伝言メモの応答メッセージについて設定 します。
ドライブモード 中有効	ドライブモード設定中に伝言メモで応答 するかどうかを設定します。
通話後録音	終話時に、あとから通話内容を録音する かどうかを設定します。

お知らせ

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、保護されて
いない古い伝言メモから順に削除されます。最大保存件数
すべてが保護されているときは電話がかかってきても伝言メ
モで応答しません。
- 保存した通話音声メモが最大保存件数を超えた場合は、保護
されていない古い通話音声メモから順に削除されます。
- 待受画面で  を押しても、表示できます。


通話音声／伝言メモの再生

- 1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [通話音声・伝言メ
モ] ▶ [伝言メモリスト]／[通話音声メモリスト]
 - 待受画面で  ▶ [伝言メモリスト]／[通話音声メモリスト]
でも表示できます。
- 2 再生する通話音声／伝言メモを選択
 - 再生画面が表示され、通話音声／伝言メモが再生されます。
 - 途中で停止する場合は、 を押します。

電話帳

連絡先の管理を行うことができます。

電話帳の登録

- 1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳
登録]
- 2 [新規連絡先として登録]／[既存の連絡先に追加]
 - [既存の連絡先に追加] を選択した場合は連絡先を選択しま
す。
- 3 各項目を設定

姓	姓を入力します。
名	名を入力します。
姓のふりがな	姓のふりがなを入力します。
名のふりがな	名のふりがなを入力します。

電話	電話番号の種別と電話番号を登録します。
メール	メールアドレスの種別とメールアドレスを登録します。
お気に入り	お気に入りに登録するか設定します。
グループ	グループに分けて登録します。
イルミネーション	着信LEDのパターンと色を設定します。
着信音	着信音を設定します。 ● [着信音を追加] を選択するとデフォルダや音声レコーダーから着信音を選択できます。
イベント	誕生日や記念日などを登録します。
住所	郵便番号と住所を登録します。
メモ	メモを登録します。
ニックネーム	ニックネームを登録します。
所属	会社などの所属を登録します。
ウェブサイト	URLを登録します。
(画像欄)	画像を登録します。 ● 連絡先確認時やSMS利用時に表示する画像を設定します。

4

電話帳検索


1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索] / [グループ一覧]

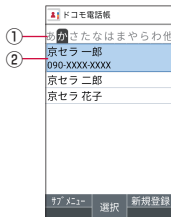
- 表示方法の切り替え:  ▶ [確認/設定] ▶ [表示方法の切替] ▶ [全件表示 (50音)] / [グループ一覧]

電話帳の確認 / 利用

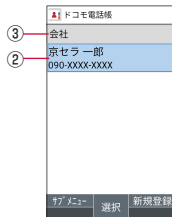
登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索] / [グループ一覧]


- 電話帳リスト画面が表示されます。
- 待受画面で  を押しても表示されます。



電話帳リスト画面 (50音)



電話帳リスト画面 (グループ)

- 1 タブ
 -  でタブを切り替えます。
- 2 連絡先
- 3 グループ名

2 名前を選ぶ

3 登録情報を確認／利用する



電話帳内容表示画面

電話をかける

- 1 電話帳内容表示画面で電話番号を選ぶ

SMSの作成・送信

- 1 電話帳内容表示画面で電話番号にカーソルを合わせる ▶

メールの作成・送信

- 1 電話帳内容表示画面でメールアドレスを選ぶ ▶ [ドコモメール] / [PCメール]

電話帳の編集

- 1 電話帳内容表示画面で ▶ [連絡先編集] ▶ 各項目を設定 ▶
 - 設定できる各項目については→P.60

電話帳の削除

- 1 電話帳リスト画面で名前にカーソルを合わせる ▶

▶ [連絡先削除] ▶ [1件削除] ▶ [はい]


- 選択削除：電話帳リスト画面で ▶ [連絡先削除] ▶ [選択削除] ▶ 名前を選ぶ ▶ ▶ [はい]
- 全件削除：電話帳リスト画面で ▶ [連絡先削除] ▶ [全件削除] ▶ [はい]

メール／ウェブブラウザ


ドコモメールやSMSなどを利用して、メッセージを送受信したり、ウェブブラウザを利用してサイトを表示したりできます。


ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/
- 「ようこそドコモメールへ」の画面が表示されたら、内容を確認いただきを押してください。

ドコモメールの作成・送信

- 1 待受画面で
- 2 [新規メール作成]

- を押してもメール作成画面を表示できます。

















作成

宛先	<宛先入力>
件名	<件名入力>
添付	<添付追加>

<本文>

メール作成画面

- 3 宛先入力欄を選ぶ
- 4 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力 ▶  
 - 宛先追加： ▶ 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力 ▶  
 - 宛先の1件削除：宛先にカーソルを合わせる ▶  ▶ [1件削除] ▶ [はい] ▶ 
 - 宛先の選択削除： ▶ [選択削除] ▶ 宛先を選ぶ ▶  ▶ [はい] ▶ 
 - 宛先の全件削除： ▶ [全件削除] ▶ [はい] ▶ 
- 5 件名入力欄を選ぶ ▶ 件名を入力
- 6 本文欄を選ぶ ▶ 本文を入力
- 7 
 - 下書き保存：

添付ファイル

ドコモメールに静止画や動画などを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

① メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

② 添付ファイルを選ぶ

写真・画像	静止画やダウンロードした画像を添付できます。
動画	動画を添付できます。
電話帳	電話帳に登録されている連絡先を添付できます。
その他のファイル	本体やmicroSDカード内のさまざまなファイルを添付できます。

③

■ 添付ファイルの追加






① メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

② ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶

■ 添付ファイルの削除

① メール作成画面で添付追加欄を選ぶ




② 添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ ▶ [1件削除] ▶ [はい] ▶

- 選択削除： ▶ [選択削除] ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶  ▶ [はい] ▶ 
- 全件削除： ▶ [全件削除] ▶ [はい] ▶ 

ドコモメールの受信

ドコモメールは自動的に受信します。

① ドコモメールを自動的に受信

- 待受画面に通知アイコン []、ステータスバーに [] が表示されます。
- 自動で受信しない：待受画面で  ▶ [メール設定] ▶ [通信設定] ▶ [自動通信設定] ▶ [毎回確認する] / [OFF]

② 待受画面で ▶ 通知アイコン [] を選ぶ


- 待受画面で  ▶ [受信BOX] でも確認できます。

③ フォルダを選ぶ ▶ 未読のドコモメールを選ぶ

メール問い合わせ

圏外や電源が入っていないときなどに送られてきたドコモメールをセンターに問い合わせで受信できます。

① 待受画面で (1秒以上)

- 待受画面で  ▶ [新着メール確認/更新] でも問い合わせできます。

+メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけでなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

+メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。

- +メッセージの詳細については、待受画面で☎▶[メール]▶[+メッセージ(SMS)]で+メッセージを開き、📄▶[ヘルプ]▶[使い方ガイド]を確認、またはドコモのホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

+メッセージの画面

- 1 待受画面で☎▶[メール]▶[+メッセージ(SMS)]



- 1 プロフィール画像
- 2 メッセージ
- 3 サブメニュー
- 4 新規作成
- 5 マイページ

メッセージを送信する

- 1 待受画面で☎▶[メール]▶[+メッセージ(SMS)]
- 2 📄▶[新しいメッセージ] / [新しいグループメッセージ]
- 3 宛先を選択
- 4 📄▶メッセージを入力▶📄▶📄
 - メッセージ画面のメニュー



- 1 メッセージの配信状況
- 2 サブメニュー
- 3 ギャラリー
- 4 作成
- 5 スタンプ

ウェブブラウザ

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

- ウェブブラウザを利用中に📶が動作しなくなったときは、ポインターを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります（→P.30）。
- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトやお客サポートなどに簡単にアクセスすることができます。

① 待受画面で📶▶[ホームページ]

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。
- 確認画面などが表示された場合は、画面に従って操作してください。

お知らせ

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください（→P.33）。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているコンテンツのご利用には、別途パケット通信料がかかります。なお、ご利用になるコンテンツによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているコンテンツには、一部有料のコンテンツが含まれます。

サイト画面の操作

- ページの表示を上下に移動：🏠/📄
- ページを戻る：[🏠]
- ページを進む：[📄]▶ [進む]
- ページの再読み込み：[🔄]▶ [再読み込み]
- 動画の再生音量変更（音量DOWN/音量UP）：[✖]/[#]
- 拡大/縮小：[3]/[1]
- 文字サイズの拡大/縮小：[6]/[4]
- ページの情報を表示：[📄]▶ [ページ操作] ▶ [ページ情報]
- ガイドの表示：[O]

新しいタブを開く

① サイト画面で📄▶[新規タブ]

- 複数のタブを表示中は、サイト画面で📄▶[タブ一覧]▶[新規タブ作成]を選択します。

タブの切り替え

① サイト画面で📄▶[タブ一覧]

② タブを選ぶ



- [7]/[9]でもタブを切り替えることができます。

タブを閉じる



① サイト画面で📄▶[タブ一覧]▶タブにカーソルを合わせる▶🗑️

Web検索／URL入力




URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

- 1 サイト画面で  ▶ [Web検索・URL入力]
 - 待受画面で  ▶ [Web検索・URL入力] でも表示できます。
- 2 キーワード／URLを入力
 - キーワードを入力して検索するときは、Web設定の [高度な設定] の [検索エンジンの設定] で指定の検索エンジンを使用します。


画像の保存

- 1 サイト画面で  ▶ [ページ操作] ▶ [画像保存]
 - 画像保存モードに切り替わります。
- 2 ポインターで画像を選ぶ
 -  で操作してください。
 - 画像保存後、[保存したデータを見る] を選択すると保存した画像を確認することができます。

文字のコピー

- 1 サイト画面で  ▶ [ページ操作] ▶ [文字列コピー]
- 2 ポインターで始点を選ぶ
 -  で操作してください。
- 3 コピーする範囲を指定
- 4  ▶ [OK]

ページ内の文字の検索



- 1 サイト画面で  ▶ [ページ操作] ▶ [ページ内検索]
- 2 検索ワードを入力
 - [へ] / [∨] で検索ワードに移動します。

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (→P.74)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

電源

- 本端末の電源が入らない
 - 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.43
 - 電池切れになっていませんか。→P.44
- 画面が動かない、電源が切れない
 - とを同時に11秒以上押すと、本端末の電源を強制的に切り、再起動することができます。
※ 強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。




充電

- 充電ができない
充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.43

- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。→P.45
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P.45
- ACアダプタ (別売) をご使用の場合、ACアダプタのコネクタが本端末または卓上ホルダ (別売) にしっかりと接続されていますか。→P.45、P.46
- USBケーブル A to C 02 (別売) をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。→P.44



端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
 - 操作中や充電中、また、充電しながらアプリなどを長時間使用した場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。→P.44
- 電池の使用時間が短い
 - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
 - 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
 - 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。→P.44

- 電源断・再起動が起きる
 - 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
- キーを押しても動作しない
 - 端末の電源が切れていませんか。→P.48
- キーを押したときの画面の反応が遅い
 - 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
- nanoSIMカードが認識しない
 - nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.37
- 時計がずれる
 - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻]の[自動設定]が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。
- 端末動作が不安定
 - お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - セーフモードの起動方法
 - 電源が切れている状態から電源を入れ、起動中の画面で待受画面が表示されるまでを押し続けてください。
 - ※ 電源を入れた状態で (1秒以上) ▶ [はい] にカーソルを合わせる▶ (1秒以上) ▶ [はい] でも、セーフモードで再起動ができます。
 - ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。

- ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
- アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)
 - 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。

通話

- キーを押しても発信できない
 - 機内モードを設定していませんか。
- 着信音が鳴らない
 - 着信・メール・通知の音量を [0 (マナーモード)] にしていませんか。
 - 公共モード (電源OFF)、マナーモード、機内モードを設定していませんか。
 - 呼出動作開始時間設定、着信拒否設定を設定していませんか。
 - 留守番電話サービスの呼出時間設定または転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていますか。
- 通話ができない(場所を移動してもの表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)
 - 電源を入れ直すか、電池パックまたはnanoSIMカードを入れ直してください。→P.37、P.43、P.48
 - 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態はを表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
 - 着信拒否など着信制限を設定していませんか。

- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

画面

- ディスプレイが暗い
 - バックライト点灯時間を短く設定していませんか。
 - 明るさのレベルを変更していませんか。

音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - 通話の音量を変更していませんか。

メール

- メールを自動で受信しない
 - 自動通信設定を [毎回確認する] または [OFF] に設定していませんか。→P.64

データ管理

- データ転送が行われない
 - USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - microSDカードを取り付け直してください。→P.41
- 画像表示しようとする時「×」が表示される
 - 画像データが壊れている場合に表示されます。

Bluetooth機能


- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
 - Bluetooth通信対応機器（市販品）側を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。→P.48

エラーメッセージ

- [空き容量わずか]
 - 内部ストレージがいっぱいです。アプリやデータを移動／削除してください。
- [ロックNo.の確認] / [パスワードの確認]
 - 端末のロック中に、端末を操作をしようとした場合に表示されます。ロックNo.またはパスワードを入力すると、端末のロックが一瞬解除され、操作できます。
- [モバイルネットワークが利用できません。] / [発信できません]
 - 有効な優先ネットワークモードに設定されているかご確認ください。

端末初期化

本体メモリ内のすべてのデータを消去します。

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他の設定] ▶ [リセット オプション]
- 2 [すべてのデータを消去(初期状態にリセット)] ▶ [モバイル端末をリセット] ▶ [すべて消去]
 - すべてのネットワークの設定をリセット: [Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット] ▶ [設定をリセット] ▶ [設定をリセット] ▶ [OK]
 - 無効化されているアプリや権限のすべての制限などをリセット: [アプリの設定をリセット] ▶ [[はい]

お知らせ

- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 設定メニューで設定した内容

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 電池パック KY01、リアカバー KY03は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。
- ※お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。

- (4) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 - (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
 4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
 6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
 7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。ソフトウェアアップデートの種類としては以下の3つがあります。

● 新機能追加

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

● 品質改善

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

● セキュリティパッチの最新化

セキュリティパッチ（脆弱性を対処するためのソフトウェア）を適用することで、本端末をより安心してご利用いただけます。


本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。
[ドコモのホームページ] ▶ [お客様サポート] ▶ [サポート情報一覧] ▶ [Android™製品のソフトウェアアップデート] ▶ [提供中のソフトウェアアップデート情報]

https://www.docomo.ne.jp/support/product_update/

ソフトウェアアップデートを行う

更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから更新をお知らせする通知を選択し、更新を開始します。
- 本体設定から
待受画面で▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェアアップデート] ▶ [更新確認] を選択し、更新を開始します。

更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

① 更新ファイルのダウンロードおよびインストール


更新ファイルのインストールの前に「OK」「後で実行」「中止」の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、以下のいずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。

(1) 「OK」を選択する

すぐに更新ファイルのダウンロード、もしくはインストールを開始します。

(2) 「後で実行」を選択する

更新を開始する時間帯を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。

- 後から更新開始時間帯を変更する場合は、待受画面で▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェアアップデート] ▶ [自動更新開始時間帯を設定] を選択し、時間帯を設定してください。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。

3 更新完了の通知

- 更新が無事に完了すると、アップデート完了の通知が表示されます。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中

- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種KY-43Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.656W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.569W/kg(※3)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行

われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.docomo.ne.jp/product/sar/>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
- ※3 LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones

This model KY-43C mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^(*1) and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.656W/kg^(*2), and that when worn on the body is 0.569W/kg^(*3). There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emp.org/O1denpa/denpa02-02.html>

(in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/>

- *1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit

- different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39

inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.


Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

■ FCC Certification Information

- The product is certified by Federal Communications Commission (FCC). The product's FCC ID is JOYEB1136.

You can view this certification in the following way.

How to confirm: In the standby screen,  [Settings] ▶ [About phone] ▶ [Compliance information]

輸出管理規制



本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信など行うことはできません。また、お客様が本製品を利用して他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「dメニュー」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「デコメ[®]」、「デコメール[®]」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「iチャンネル」、「spモード」、「あんしんマネージャー」、「dmenu」ロゴ、「iチャンネル」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「DIGNO」は、京セラ株式会社の登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。 
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Direct[®]はWi-Fi Allianceの登録商標です。 Wi-Fi CERTIFIED[™]、WPA[™]、WPA2[™]、WPA3[™] はWi-Fi Allianceの商標です。 
- Microsoft[®]、Windows[®]およびWindows[®] 10/Windows[®] 11 は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 Microsoft[®] Windows[®] の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] Operating Systemです。
- microSD、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnn IMEを使用しています。 iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2023 All Rights Reserved. THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN

COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com). THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

- 本製品の一部分に、Independent JPEGGroupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

- その他、本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。

- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。
- この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。
 - (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
 - (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
 - (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「**■**オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by

Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

あ	
アプリ権限設定	50
アプリ使用履歴	53
暗証番号	51
PINコード	52
PINロック解除コード	52
PUKコード	52
機能ロックNo.	52
機能ロックNo.変更	52
ネットワーク暗証番号	52
ウェブブラウザ	66
dメニュー	66
URL入力	67
画像保存	67
検索	67
操作	66
タブ操作	66
ホームページ	66
文字検索	67
文字のコピー	67
絵文字入力	50
エラーメッセージ	70
応答メッセージ	60
オープンソースソフトウェア	82
お知らせアイコン	32
お手入れ	23
音量	
着信	56

通話	58
----	----

か

カーソルキー	26、29
外部ストレージ	41
外部接続端子	27
顔文字入力	50
各部の名称	26
カスタマイズキー	27、54
気圧調整穴	27
記号入力	50
機能ロックNo.	52
機能ロックNo.変更	52
切り取り	50
緊急通報	55
クリアキー	27
故障かな?と思ったら	68
コピー	50

さ

材質一覧	13
サブディスプレイ	34
充電	44
ACアダプタ	45
DCアダプタ	48
卓上ホルダ	46
パソコン	48
充電ランプ	28、34
終了キー	27

受話口	26
肖像権	80
商標	80
ショートカット	29
初期設定	50
スクリーンショット	35
ステータスアイコン	33
ステータスバー	31、32
お知らせアイコン	32
ステータスアイコン	33
ストッパー	28
ストラップ	36
ストラップ取付部	27
スピーカー	26
センターキー	26
操作暗証番号	51
送話口	27
ソフトウェアアップデート	74

た

耐衝撃性能	20
ダイヤルキー	26
タスク管理	53
端末リセット	71
知的財産権	80
着信音量	56
着信拒否	57
SMS送信	57
着信ランプ	28、34
着信履歴	59

著作権	80
通知アイコン	31
内容確認	32
通知リスト	33
通話音声メモ	
再生	60
設定	59
録音開始	58
通話音量	58
通話後録音	60
定型文	50
ディスプレイ	26
データ消去	71
電源	
入れる	48
切る	48
電源キー	27
伝言メモ	
応答	57
再生	57、60
設定	59
電池パック	28、43
寿命	44
取り付け	43
取り外し	44
電話	55
受ける	56
かける	55
通話中の操作	57
通話の追加	58
電話帳	60
SMS	62

確認	61
検索	61
削除	62
電話をかける	62
登録	60
編集	62
メール	62
電話番号 (自分)	35
ドコモメール	63
作成	63
受信	64
送信	63
添付ファイル	64
メール問い合わせ	64
トラブルシューティング	68

な

内蔵Bluetoothアンテナ部	28
内蔵GPSアンテナ部	28
内蔵Wi-Fiアンテナ部	28
内蔵サブアンテナ部	28
内蔵メインアンテナ部	28
ネットワーク暗証番号	52

は

発信キー	26
貼り付け	50
範囲選択	50
比吸収率	76

フォーカスモード	31
ブラウザキー	27
プロフィール	35
ポインター操作	30
防塵性能	20
防水性能	20
ホームページ	66
保証とアフターサービス	71
本体付属品	1

ま

マイク	27
待受画面	31
マナーキー	27
水抜き	25
メール	
+メッセージ	65
ドコモメール	63
メールアドレス (自分)	36
メールキー	26
文字切替	48
文字修正	
バック機能	49
戻す機能	49
文字入力	48
顔文字	50
記号	50
切り取り	50
コピー	50
サブメニュー	50

定型文	50
貼り付け	50
範囲選択	50
予測変換機能	49
文字変換	49

や

輸出管理規制	80
予測変換機能	49

ら

リアカバー	28
取り付け	22
取り外し	22
リセット	71
リダイヤル	59

英数字

Bluetooth通話	58
Device Controlについて	48
dアカウントパスワード	52
dメニュー	66
FAQ	68
License	82
MENUキー	26
microSDカード	41
取り付け	42
取り外し	43

nanoSIMカード	37
取り付け	37
取り外し	39
nanoSIMカードスロット	28
PINコード	52
PINロック解除	53
PINロック解除コード	52
PUKコード	52
SAR	76、77
SIM PINの変更	53
SIMカードロック	53
Web	66
+メッセージ	65

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

- レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード

本端末から鳴る音を消します。

● 公共モード（電源OFF）

電話をかかってきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ（→P.59）

電話に出られない場合に、電話をかかってきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から ▶お気に入り▶dメニュー▶My docomo

パソコンから My docomo(<https://www.docomo.ne.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID/パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

[+]を画面表示 **-81-3-6832-6600（無料）**

（「+」は「0」キーを1秒以上押します。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

**滞在国の国際電話
アクセス番号** **-81-3-6832-6600（有料）**

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。

総合お問い合わせ

お問い合わせはこちら▶



ドコモのホームページ

<https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/>

総合お問い合わせ先 (ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話専用窓口(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

☎ 151

受付時間 午前9:00~午後8:00 (年中無休)

ahamoプランをご契約のお客さま

■故障等のお問い合わせ

ahamoのホームページ

<https://ahamo.com/>



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話のPHSの回収に協力。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象:携帯電話、PHS、電池パック、充電器、
卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 京セラ株式会社



あぶない!
電池への衝撃



'23.2 (1版)
5KKTEB1136NX-0223SZ



管理用コード

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話専用窓口(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

☎ 113

■一般電話などからの場合

☎ 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページ

<https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/repair/>



法人のお客さま向けお問い合わせ先 (ドコモ・コーポレートインフォメーションセンター)

☎ 0120-003300

受付時間 午前9:00~午後5:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。